

『S58.7豪雨から30年』

聞いて納得! 描いて実感!!

～西益田小の児童34名、根固めブロックの役割を学びました～

浜田河川国道事務所では、この度益田市立西益田小学校の6年生と特別支援学級の児童34名を招き「高津川堤防補強外工事」で製作した**実物の根固めブロック**を前に、洪水時における根固めブロックの**役割**や、ブロックの**製作方法**等について学んで頂きました。

また、根固めブロックの大きさを**実感**してもらう為、児童が学校でイメージしたイラストを**実物の根固めブロック表面にイラストを描いて**記念撮影を行いました。



- ✓ 根固めブロックは高さが1.75m 重さが3tあります。
- ✓ 護岸の根元に設置して、洪水で護岸が洗い流されて堤防の決壊を防ぎます。



真剣な表情で説明を聞く児童達

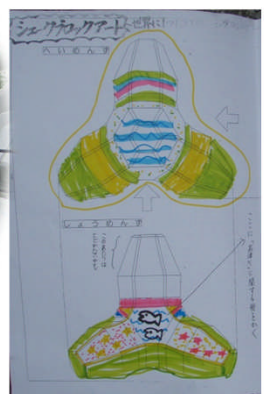
当日は『S58.7豪雨災害』のパネルも見学してもらい災害の怖さや備蓄資材の重要性も併せて学びました。



児童達はブロックの大きさにビックリしたものの楽しそうに描いていました



根固めブロックをバックに記念撮影



事前にブロックの大きさをイメージして図案を考えてもらいました